

2022年4月28日

各位

会社名 石油資源開発株式会社
 代表者名 代表取締役社長 藤田 昌宏
 コード番号 1662 (東証プライム)
 問合先責任者 コーポレートコミュニケーション室長 朝井 卓
 電話番号 03-6268-7110

業績予想の修正、営業外収益の計上および繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

石油資源開発株式会社 (JAPEX) は、最近の業績動向を踏まえ、本年2月9日に開示した2022年3月期の連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。また、2022年3月期決算において、営業外収益の計上および繰延税金資産の取崩しを行うこととなりましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2022年3月期連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	235,749	16,168	31,972	△39,029	△687.28
今回修正予想 (B)	249,140	19,809	43,674	△30,988	△545.64
増減額 (B-A)	13,391	3,641	11,702	8,041	
増減率 (%)	5.7	22.5	36.6	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	240,078	4,192	10,001	△2,725	△47.73

(2) 修正の理由

前回発表予想 (2022年2月9日開示) と比較して、売上高および営業利益は、主として原油価格や電力スポット市場価格の上昇により、増収、増益となる見通しです。

経常利益は、為替差益の増加 (下記2.) を見込むことなどにより、増益となる見通しです。

親会社株主に帰属する当期純損失は、(1) 2022年3月22日付「子会社の解散および債権放棄、ならびに特別利益 (債務免除益) の計上について」で開示した特別利益の計上、(2) 同日付「子会社の清算終了、ならびに特別損失の計上について」で開示した特別損失の計上、(3) 2022年3月16日に発生した福島県沖地震により生じた災害に係る特別損失の計上、(4) 繰延税金資産の取崩し (下記3.) にともなう法人税等調整額の増加を見込むことなどにより、縮小する見通しです。

(3) 参考

【原油 CIF 価格の想定】

(米ドル/バレル)

前回予想		今回予想	
2021年4月～12月平均(実績)	70.28	2021年4月～2022年3月平均(実績)	73.28
2022年1月～3月(見込)	70.00		

【為替レートの想定】

(日本円/米ドル)

前回予想		今回予想	
2021年4月～12月平均(実績)	109.96	2021年4月～2022年3月平均(実績)	111.20
2022年1月～3月(見込)	110.00		

(注) 上記の予想数値は現時点で入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 営業外収益の計上について

2022年3月期第3四半期連結累計期間において、為替差益51億円を計上していましたが、昨今の為替相場の変動により、2022年3月期第4四半期連結会計期間では、為替差益49億円を計上することとなりました。これにともない、2022年3月期連結決算において、為替差益100億円を営業外収益に計上する見通しです。

3. 繰延税金資産の取崩しについて

当社は、世界的な脱炭素化のさらなる加速など当社を取り巻く事業環境の変化に迅速かつ柔軟に対応するため、収益力強化と2030年以降を見据えた事業基盤の確立を基本方針とする当社の中長期戦略「JAPEX 経営計画 2022-2030」を策定し、本年3月28日に開示しました。

このたび、同計画のもとで想定する中長期の原油価格やキャッシュ・フローの見通しに照らして、将来における繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、2022年3月期第4四半期の個別決算および連結決算において繰延税金資産約75億円を取り崩し、法人税等調整額に計上することとしました。

以上